

2021 年度 小委員会活動成果報告

(2022 年 2 月 15 日作成)

小委員会名	木質耐力壁構造 Q&A 改訂小委員会	主 査 名：榎本敬大 就任年月：2018 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (木質構造運営委員会)	委員長名：五十田博 (主 査 名：河合直人)
設 置 期 間	2018 年 4 月 ～ 2022 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>2011 年 8 月に刊行した「木質系耐力壁形式構造に関する Q&A」の内容について、最新の知見を基にした内容改定の要否を検討すると共に、刊行後に登場した CLT 等の新しい木質材料や新しい耐力壁形式構造に関する記述の追加など、必要な改訂内容について検討する。なお、改定を予定している「木質構造設計規準・同解説」との整合性や内容の記述の棲み分け、さらに中層大規模における耐力壁形式に必要な事項等についても合せて検討し、改定出版原稿を取りまとめる。</p> <p>初年度：2011 年 8 月に刊行した『木質系耐力壁形式構造に関する Q&A』の内容を精査し、最新の知見や修正すべき箇所の有無やその内容について検討する。</p> <p>2 年度：最新の技術的見解による改定箇所の検討を継続すると共に、「木質構造設計規準・同解説」との整合性や記述範囲の棲み分等について検討する。</p> <p>3 年度：改定版の目次構成・収載する内容について検討し、原稿の素材を収集、草稿の執筆に入る。</p> <p>4 年度：改定原稿を執筆し、上位委員会の査読を受け、査読内容や指摘事項に対応し、出版用原稿を完成させる。</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無	
	主査：榎本敬大 (建築研究所) 幹事：梶川久光 (明治大学)、杉本健一 (森林総合研究所) 委員：中村 昇 (岡山大学)、青木謙治 (東京大学)、林崎正伸 (建材試験センター)、大浦和香子 (ボラス暮し科学研究所)、岡本滋史 (大阪市立大学)、小川春彦 (ミサワホーム)、後藤隆洋 (日本住宅・木材技術センター)、高岡繭子、津田千尋 (ベターリビング)、大橋修 (三井ホーム)、藤野栄一 (職業能力開発総合大学校)、山崎義弘 (建築研究所)	
設置 WG (WG 名：目的)	木質系耐力壁の性能分析 WG (耐力壁構造の終局設計に関する情報収集・整理)	
2021 年度予算	70,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：無

項 目	自己評価
委員会開催数	8 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 当初の予定通り、『木質系耐力壁形式構造に関する Q&A』(2011 年 8 月刊行)の改定版の原稿を執筆し、委員会内査読を実施し、上位委員会査読を受ける準備は整ったが、査読結果を得るまでには到らなかった。 2. 当初の予定通り、改訂箇所に関する素材の収集等を継続し、同書の改訂版の原稿の一部を執筆した。
委員会活動の問題点・課題	1. コロナ禍のため web 会議のみの開催となり必要最低限の意思疎通に留まっている。学術的知見に関する詳細な意見交換等の難しさに直面しており、改善策を模索している。